

---

# まずい土産菓子をもらって考えたこと

高橋さくら

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

まずい土産菓子をもらって考えたこと

### 【Nコード】

N6728J

### 【作者名】

高橋さくら

### 【あらすじ】

あなたはまずいお土産菓子をもらった経験はありませんか？私はたくさん、あります。

先日、会社の同僚にもらった不味い土産菓子を食べた後、あまりに割り切れない思いがこみ上げてきたので、綴ってみました。共感していただけたら幸いです。

先日、会社の同僚Ｔさんから旅行土産に観光地の名称が入ったプチケーキをもらった。

「萩の月」の生地の部分をもっとボソボソにして不味くしたような菓子をイメージしていただけるといいかと思う。

食べ終わった後、私は若干のイラダチを覚えながら脳内会議を開始した。

「これを敢えて選んだ彼のイトは？」

「何も考えてないのでは？」

「無難なセンを狙つてのチヨイスか？」

などと私A、私B、私Cが意見を戦わせた。

どこの土産物屋にも名前を変えて売っており、なおかつ不味い菓子……これを私は個人的に「アップールミヤゲ」と呼んでいる。

この手のミヤゲを買う人に、それを配る人間に対して

「美味しい物を買ってきてあげよう！喜ばせよう！」というイトは残念ながら１ミリもない。

あるのは、

「オレ、休みに旅行楽しんじやいましたー！！！」

とうアップールのみ。

アップールミヤゲを配るなんて100万年早くてよ！！

オーホッホッホッホッホッ！！（お蝶婦人風・わからない人は読み飛ばしてください）

お土産ごときに時間・思考を割いてられるか！と思つたあなた！

お土産は「ベタな・人気菓子」で攻めよう！

北海道なら「白い恋人」

京都なら「八ツ橋」

ハワイなら「マカダミアナッツチョコ」

ベタではあるが、ベタな人気菓子はフツーに美味しいので菓子愛好家に毒を吐かせたりしないのだ。

しかも、「ギリでしょーがなく」買ったとしてもそんなイトはミジンも感じさせないのがベタな人気菓子の良い所である。

最近一番テンションがあがったのは沖縄土産「紅芋タルト」。

沖縄土産では超定番らしいのだが、私は初めて食べた。

沖縄土産で迷った際はこちらをぜひおすすめしたい次第である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6728j/>

---

まずい土産菓子をもらって考えたこと

2010年10月26日09時13分発行